

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス糸満教室			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 3日		～	令和 7年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 3日		～	令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が多く配置されており寄り添った支援が行え、保護者の信頼や子ども達が安心して通う事ができている。	日々の活動以外に些細な事でも報告・共有を行う事で保護者さんとのコミュニケーションを大切にしている。 送迎時の短い時間の使い方を工夫したり、対面で報告できない際には電話にて共有、職員間での共有もしっかりと行っている。	・職員全員が保護者対応できるよう、保護者対応の研修や職員間での共有する時間を大切にしたい。 ・子ども達に関する悩み等を家族会以外でも、個別に職員とお茶会の様な形でリラックスして共有できる機会を検討している。
2	多職種の職員がいること。	・保育士や作業療法士がいる。 ・いろいろな視点で療育に携わることが出来ている。 ・いろいろな視点からの意見を共有しあうことが出来ている。	・いろいろな視点から、アイデア等を出し合い、児童ひとりひとりに合わせた療育が出来るようにしたい。 ・集団療育の質を高めていきたい。
3	別市町村の姉妹（こどもプラス）教室との連携が密に行われている。	・ライフステージに合わせた利用が可能。 ・個人の特性に合った環境での療育が可能。 ・運動遊びや行事等共有して実施する事ができる。	・姉妹教室と情報共有で認識のずれが出ることがあったので、今後共通理解が出来るようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の参加や保護者さんとの交流の場が少ない。	・保護者会や交流会の時間の確保。 ・事業所側からの声掛けを行っていなかった。	・面談や交流会の希望を募り、定期的に交流できる機会を設けたい。 ・事業所主催だけでなく、地域でベアトレ等のセミナーが開催された際には保護者さんにも周知を行う。
2	視覚構造化を進めていきたい。	・未就学である為言葉以外で簡易的な視覚提示を行っている（写真やイラスト等）。	・1日の流れや活動内容等、写真やイラストを用いる。 ・物の場所、鞆の場所等、分かりやすく視覚的に掲示する。 ・ルールやお約束等、分かりやすいよう職員によるSSTやイラスト等を用いて説明を行う。
3	地域交流の機会が少ない。	・屋外活動の時間が少なく、地域のお友達との交流の機会が少なかった。	・定期的に屋外活動の時間を設け、地域のお友達と交流する機会を設ける。 ・地域交流以外でも姉妹教室との事業所間交流も行い子ども達の成長につなげたい。